

## 来 年度に社団法人を目指す 「ふるさと体験飛驒高山」が臨時総会



高山市の農林自然体験型観光に取り組む任意団体「ふるさと体験飛驒高山（水野光良会長）」が12月16日、市役所で臨時総会を開き、来年度に社団法人化することを決めました。

同団体は平成19年に発足し、市内の宿泊・観光施設など38団体で構成。昨年は13校3,200人余りのグリーンツーリズム型修学旅行などを受け入れました。法人化でさらに期待が高まります。

## 歴 史ある年末の風物詩 市公設地方卸売市場で「塩ぶり市」



江戸時代から続く年末の恒例行事「塩ぶり市」が12月24日、市公設地方卸売市場で開かれ、30日までに約3,900本のぶりが取り引きされました。

せりの呼びかけは「円」でなく昔ながらの「貫」。せり人の「3万貫」「4万貫」という威勢のいい声が市場に響き渡り、集まった買受人は、脂の乗った富山や石川産の立派なぶりを次々と競り落としていきました。

## 新 年のスタートダッシュ 元旦開催の「清見新春マラソン」



今年で27回目を数える「清見新春マラソン」が1月1日、清見B&G海洋センターをメイン会場に開催され、市民ら約160人が参加しました。

3歳から60歳までの参加者は、1.5km、2.5km、3.5kmの3コースに挑戦。初春にふさわしい新雪を踏みしめながら、沿道からの盛んな声援を受けて全員が完走しました。

ゴール後にはお楽しみ抽選会も行われました。

## は たちの節目、決意あらたに 各地で「新成人を祝うつどい」



今年は市内で944人が成人を迎え、各地域では1月1日から10日までの間、「新成人を祝うつどい」が開催されました。

このつどいは、新成人らが構成する実行委員会が企画から運営まで手掛けるもの。どの会場でも合唱やビデオ放映など、さまざまな趣向が凝らされる中、同級生や恩師との再会に和やかなムードでした。



## ライトアップ中はイベント目白押し 飛驒の里

色とりどりのライトに照らされ、神秘の世界に変わった飛驒の里の幻想的な冬景色を楽しみませんか。ライトアップ期間中の日中は、焼餅サービス（期間中の土日祝）や竹スキー体験、ひのき笠とぼんどりを身につけて記念写真を撮ることができます。市民の方は入場無料です。

- 期日 1月16日(土)～2月28日(日)
- 時間 午後5時30分～9時

問合先 飛驒民俗村  
☎34-4711